

教育委員会の点検・評価

平成26年度 教育施策評価一覧表

将来都市像

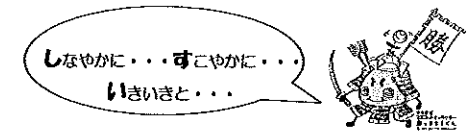
基本目標

基本理念

重点施策

推進目標

主な事業



## 平成26年度 教育施策評価一覧表

### 重点施策 1 学校教育の充実

#### 推進目標 (1) 学校施設や教育条件の整備充実

| 事務事業名            | 事業概要   | 取組状況 | 決算見込額<br>(単位：千円) | 成果・効果                                     | 課題<br>問題点 | 今後の方向性 |
|------------------|--|------|------------------|---|-----------|--------|
| ①小中学校教育用パソコン新規切替 | 小中学校のパソコン教室用パソコンを新たに入れ替えて、より一層パソコンによる授業の向上を図る。 | A    | 5,641            | 予定どおり9月に入れ替えを完了し、パソコンの操作性の向上やソフトの充実が図られた。 |           | 現状維持   |

#### 推進目標 (2) 幼児教育への支援

|                                   |   |   |        |  |  |      |
|-----------------------------------|---|---|--------|--|--|------|
| ①私立幼稚園就園奨励費補助金の支給・私立幼稚園運営費・教材費の助成 | 保護者の経済的負担の軽減を図るため補助金を支給。幼児教育の推進を図るため、教材費の補助を行う。 | A | 37,633 | 町内外の幼稚園9園に対し、園児291人、補助金36,998千円を交付した。私立幼稚園町内2園に各20万円、教材費補助金、酒々井幼稚園107千円、昭苑幼稚園128千円を補助した。 |  | 現状維持 |
|-----------------------------------|---|---|--------|--|--|------|

#### 推進目標 (3) 学校運営の支援

|           |   |   |       |  |                             |      |
|-----------|---|---|-------|--|-----------------------------|------|
| ④ALTの活用   | 国際理解教育の推進を図るため、ALTを直接雇用し、チームティーチングによる指導を中心にコミュニケーション能力の向上を図る。 | A | 6,885 | ALTを直接雇用したことにより、小学校低学年と中学校での英語教育が充実した。 | クラスの時間割によってALTの活用に差が出る。     | 現状維持 |
| ⑤図書館教育の充実 | 学校図書館と公立図書館の連携を進める。図書館アシスタントを配置し、図書館機能を活かした教育活動の充実を図る。        | A | 1,634 | 公立図書館との連携により、調べ学習に活用できる図書が充実してきている。    | 古い図書が多いため新たな図書の継続した購入を実施する。 | 現状維持 |

## 推進目標（４）特色ある教育活動の推進

|                  |  |   |       |  |  |      |
|------------------|--|---|-------|--|--|------|
| ①人権同和教育の推進       | 人権アンケートを実施することで、そこから得られた児童生徒の意識を反映した研究を深めながら、人権同和教育を推進する。              | A | 200   | 酒々井中学校で、人権・同和教育授業研修会を実施し、命の大切さについて理解を深めた。  | 人権に対する意識を今後も学校教育活動で高める。                          | 現状維持 |
| ②教職員の特色ある教育活動の支援 | 特色ある教育活動の積極的な推進を図るため、「教職員の特色ある教育活動支援事業」を実施、児童生徒に対しての教育効果をあげる調査研究活動の支援。 | A | 400   | 「教職員の特色ある教育活動支援事業」に3件の応募があり、どの提案についても熱心に調査研究に取り組んでいた。  | 補助金の使途を講師の派遣や研修会への参加にも充当するよう推奨す。                 | 現状維持 |
| ③保小中連携推進事業の推進    | 保小の交流会や小中学校交流会及び保小中連携分科会を実施し、学習指導や生徒指導における連携の円滑化を図る。                   | A | 300   | 特別支援学級小中合同交流会、小中合唱発表交流会を実施した。心の教育推進会議では、警察・児童相談所などと連携し、小中学校の生徒指導上の問題点を具体的に話し合えた。保育園と小中学校は交流活動回数増により連携する機会が増えた。 | 小中学校間の特別支援、生活科を含む11の教科と領域での分科会での話し合いの内容の充実にも努める。 | 現状維持 |
| ⑤中学生国際交流派遣事業の推進  | 国際化に対応できる人材の育成を図るため、中学生を海外へ派遣する「国際交流派遣事業」を実施する。                        | A | 3,112 | 18名の中学生が参加し、予定どおり実施することができた。来年度35名の参加希望がある。  | 定員超過の選定生徒指導上問題の生徒や経済的困難な生徒の選定方法が難しい。             | 現状維持 |

## 推進目標（５）安全・安心な教育環境の整備

|             |  |   |   |   |  |      |
|-------------|--|---|---|---|--|------|
| ①いじめ防止対策の推進 | 各小中学校ごとに、実態に即したかたちで作成し、教職員がいじめの問題の重要性を認識し、常に危機感をもって未然防止・早期解決に取り組む。 | A | 0 | 生徒指導部を中心とした組織でいじめ問題について対応できるようにし、教育相談体制の充実。地域や家庭と連携を図り、早期発見・早期解決できるよう強化を図ることができた。 | 携帯電話やスマートフォンによるいじめが後を絶たない。今後、小中学校でも連携を図る必要がある。 | 現状維持 |
|-------------|--|---|---|---|--|------|

|                           |  |   |     |   |  |      |
|---------------------------|--|---|-----|---|--|------|
| ④学校における「食物アレルギー対応の手引き」の活用 | 食物アレルギーを有する児童生徒の疾患が多様化し、増加傾向にあり、アナフィラキシーを起した生徒に対しエピペンの使用も含め、想定になかったことについても学校現場で手引きを活用しながら対応する。 | A | 412 | 全職員が、食物アレルギーに対して正しい知識を持ち、食物アレルギーを有する児童生徒へ適切な支援ができるようきめ細かい指導体制で取組んだ。エピペン研修を行い知識を深めた。 | 食物アレルギーを有する児童生徒の増加すると考えられ、保護者からの情報を確実に教職員に伝え、適切な対応が望まれる。 | 現状維持 |
| ⑤食材放射線測定器による食材の定期的な計測     | 放射線濃度が国の基準を満たし流通したものであっても、町独自で下限値を定め測定することによって更に給食食材の安全性を高める。                                  | A | 216 | 週3回2品目（主菜1品・副菜1品）を原則として、当日使用する食材の中から選定し検査を行った。                                      | 先の見通しが不透明な放射能汚染問題に苦慮している。                                | 現状維持 |

### 推進目標（7）食育の推進

|                  |  |   |    |   |  |      |
|------------------|--|---|----|---|--|------|
| ①栄養士による栄養指導の充実   | 小学校の学年に応じて「食」のテーマを設け、食に関する興味関心を高める。また、中学1年生を対象に「生活習慣予防学習会」を行う。   | A | 61 | 給食時間前に児童の年齢に応じたテーマの授業を行った。中学1年生に生活習慣の改善等の講話を行った。  | 朝食をとらない児童生徒が学年が上がるにつれて増加したり朝食を摂っていても内容が不十分であったりする現状から、食事環境や食事内容、食事時間等の正しい知識を身に付けさせる必要がある。              | 現状維持 |
| ②栄養教諭による家庭科授業の参加 | 小学校5・6年生及び中学2年生の家庭科の調理実習等に栄養教諭がT.Tとして参加することで、専門的な視点から食に関する指導を行う。 | B | 27 | 小学校高学年及び中学2年生の家庭科授業に栄養教諭がT.Tとして参加しきめ細やかな実技授業を行った。 | インスタントやファーストフードが飽和にある現代で、いかに「食」を選ぶか、また、実技を通じた授業を通して生活する中で実践する力を身に付けられるようにT.T指導し、よりきめ細かに指導することができると考える。 | 現状維持 |

※推進目標の(三)付き数字と事務事業名の○付き数字は、  
体系図の数字になります。

【評価委員会からの意見等】

(1) ① 小中学校教育用パソコン新規切替

\*パソコンを利用した授業を今後、展開していただきたい。

(3) ⑤ 図書館教育の充実

\*朝読書の読み聞かせ時間が短くなっているので、もう少し時間を取れるよう検討していただきたい。

\*学校図書館の蔵書率が向上したことは、大変良いことだが、本が古いので買替もお願いしたい。

\*中学生は部活などで読書の時間がとれない。また、町立図書館の利用もできない等の問題があるようだが、読書をする環境を整えていただきたい。

(4) ① 人権同和教育の推進

\*人権アンケートの結果を踏まえ今後の指導や授業に生かして行っていただきたい。

(4) ② 教職員の特色ある教育活動の支援

\*支援事業が主に備品や教材費に使われていて、今後は講習会の派遣や研修会に使用させるという事だが、備品などの予算が少ないことが原因だと思われるので、本来の事業推進のためには備品予算を充実させていただきたい。

(4) ⑤ 中学生国際交流派遣事業の推進

\*定員を超えた応募者や諸問題などで応募できない生徒もいるようだが、選定も難しいと思うが、多くの生徒が参加できよう検討していただきたい。

(5) 安全・安心な教育環境の整備

\*食材の放射線測定は、継続して行っていただきたい。

\*給食への異物混入は細心の注意をはらっていただきたい。

(7) ① 栄養士によるきめ細やかな栄養指導の充実

\*朝食を摂らない生徒児童もいるようなので、栄養指導については継続して行っていただきたい。

## 平成26年度 教育施策評価一覧表

### 重点施策 2 学習機会の拡充と成果の活用

#### 推進目標 (1) 生涯学習事業への参加促進

| 事務事業名            | 事業概要   | 取組状況 | 決算見込額<br>(単位：千円) | 成果・効果   | 課題<br>問題点                            | 今後の方向性 |
|------------------|--|------|------------------|---|--------------------------------------|--------|
| ①家庭教育学級の充実       | 体験や活動を通して、家庭における教育力の向上を図る。家庭教育学級の講座の情報提供を実施することで、学級生の企画力を支援し、講座の内容の充実を図る。        | B    | 958              | ローズマリー学級10回開催酒々井小家庭教育学級7回開催大室台小家庭教育学級7回開催酒々井中家庭教育学級6回開催 | 学習会の参加が少ない傾向にある。                     | 現状維持   |
| ⑧北海道陸別町児童交流事業の実施 | 町の次代を担う子どもたちの成長のため、異なる環境に触れ体験する機会を与え、また、陸別町の児童との交流を図ることで、子どもたちの視野を広げることを目的に実施する。 | A    | 1,868            | 8月26日～28日小学6年生15名と引率4名とで北海道陸別町で陸別小学校での交流会等を実施した。        | 参加希望者が多いため、27年度は参加児童数を15名から20名に増加した。 | 拡大     |

#### 推進目標 (2) 学習機会の拡充及び学習活動の支援

|                             |  |   |     |  |   |      |
|-----------------------------|--|---|-----|--|---|------|
| ②土曜日の教育支援体制等構築事業の実施(こども青樹堂) | 子どもたちの豊かな人間形成を育み、確かな学力の定着に向けた学習プログラムを提供することを目的とし、土曜日に子どもたちが進んで学習に取り組む場として開設する。 | A | 923 | 3・4年生対象の「酒々井こども青樹堂」は児童19名に全19回学習会を実施。5・6年生対象の「土曜塾」は児童25名に全20回の学習会を実施した。両クラスとも、基礎学習を中心に、史跡ウォーキングや落語鑑賞などの体験や芸術鑑賞を実施した。                       | 教員や教職を目指す学生などの学習指導者の確保が課題である。                           | 現状維持 |
| ③公民館主催の各種講座の拡充と学習成果の活用      | 特別講座として「酒々井青樹堂」を開講。また、小学3・4年生及び5・6年生を対象にした「こども青樹堂」や外国人を対象とした「コスモス会日本語教室」を開講した。 | A | 528 | しすい青樹堂は、1期生が3月に、また、カレッジコース10期生は昨年8月に卒業を迎えレポート発表時に成果を報告した。こども青樹堂は、小学3～6年生の児童たちが楽しく学習することができた。コスモス会日本語教室ではそれぞれのレベルに合わせた講座及び受講生の生活に合った講座を行った。 | 青樹堂師範塾は受講希望者が少なく開講できなかった。住民のニーズにあった講座を開講できるよう改善する必要がある。 | 改善   |

### 推進目標（3）教育機関の施設整備及びサービスの充実

|                               |  |   |       |  |                                 |      |
|-------------------------------|--|---|-------|--|---------------------------------|------|
| ②公民館の計画的な改修                   | 主に講堂で使用しているテーブルが開館当初から使用しているため破損が多く、新たに購入し、施設の充実を図る。 | A | 4,684 | 屋内消火栓ホースの交換やブラインド、講堂用テーブル、テレビの購入等、施設環境の充実を図った。     | 開館後33年が経過しているため、計画的な修繕が必要。      | 現状維持 |
| ④図書等の蔵書資料の充実                  | 多様な内容の資料の整備・充実を図り、かつ他の図書館との相互貸借を活用し、積極的な資料の提供を行う。    | A | 4,754 | 図書リクエストについて、他の図書館との相互貸借等、購入以外の方法でほぼ100%要求に応えた。     |                                 | 現状維持 |
| ⑤読書推進のための講演会の実施（プリミエール10周年事業） | プリミエール酒々井開館10周年を記念した記念講演を開催する。                       | A | 50    | 幼稚園での教育活動の傍ら、ストーリーテラーとしても活躍する藤田浩子氏を講師に招き、講演会を開催した。 | より多くの方に参加できるように、今回は周知の方法を見直したい。 | 現状維持 |

※推進目標の（三）付き数字と事務事業名の○付き数字は、体系図の数字になります。

#### 【評価委員会からの意見等】

#### （2）②土曜日の教育支援体制等整備事業（こども青樹堂）

\* 土曜日の学習会は素晴らしいと思う。できれば中学生も参加できよう検討していただきたい。

#### （2）③公民館主催の各種講座の拡充と学習成果の活用

\* 青樹堂師範塾に人数が少なく、町民に師範塾の趣旨が理解されていなかったのが原因のようだが、内容の見直しをして青樹堂師範塾が継続できるようお願いしたい。

#### （3）②公民館の計画的な改修

\* 公民館の耐震工事で、公民館利用者が工事中使用できないことから、公民館利用者に迷惑がかからないよう、代替え施設等をお願いしたい。

\* 講堂のテーブルは重たかったので、軽量のテーブルを買い替えていただいたのは、利用者には負担がかかるくなったので良いことだと思う。引き続き椅子の買い替えもお願いしたい。

#### （3）⑤図書等の蔵書資料の充実

\* ブックリサイクルは年1回行われていて、図書館の掲示板や町の広報等でお知らせしているようだが、それでも情報が得られない方もいるので、お知らせ方法を検討していただきたい。

\* 雑誌の新刊は図書館カウンターで申し込まないと閲覧できず、盗難防止のためだと認識はしているが、もう少しスムーズに閲覧でき方法を検討していただきたい。



## 平成26年度 教育施策評価一覧表

### 重点施策 3 文化の創造と健康づくりの推進

#### 推進目標 (1) 文化活動の推進

| 事務事業名                   | 事業概要  | 取組状況 | 決算見込額<br>(単位：千円) | 成果・効果   | 課題<br>問題点 | 今後の方向性 |
|-------------------------|---|------|------------------|---|-----------|--------|
| ①文化協会への助成<br>②郷土研究会への助成 | 町の文化・芸術・歴史等の文化活動の発展の推進をもくてきとし、町内の文化団体への補助金の交付を行う。 | A    | 214              | 町内の文化団体への補助金の交付・活動の補助を実施し、酒々井町の文化・芸術・歴史等の文化活動の発展の推進が図られた。 |           | 現状維持   |

#### 推進目標 (2) 文化財の保存整備と普及・活用

| 事務事業名         | 事業概要   | 取組状況 | 決算見込額<br>(単位：千円) | 成果・効果  | 課題<br>問題点   | 今後の方向性 |
|---------------|--|------|------------------|--|---|--------|
| ①本佐倉城跡整備事業の実施 | 東山馬場の国指定地外部分に仮称「入口広場」を設置するための埋蔵文化財調査を実施するほか遺構の保護及び見学者の安全を図るため通路の一部について手摺りや階段の修理工事を行う。また、ボランティアガイドと協働し本佐倉城跡見学会を実施するほか公民館、本庁舎玄関で本佐倉城跡の展示を行う。 | A    | 8,223            | 入口広場予定地の埋蔵文化財調査を9月～10月の2ヶ月間実施し、土塁跡が検出されるなど東山部分の構造について解明することができた。東山虎口入口他、見学用通路3カ所修理工事を実施し、見学者の安全及び遺構の保護が図られた。     | 今後の整備工程の詳細について、町実施計画及び予算面と調整しながら検討する必要がある。                            | 現状維持   |
| ⑥まちの顔づくり推進事業  | 江戸時代に栄えた旧酒々井宿を「酒々井町の顔」として町並み保存・整備を行い、観光資源都市活用するため旧酒々井宿の町並み復元調査とパンフレット作成等を「酒々井の顔づくり実行委員会」を設置して実施する。   | C    | 0                | 文化庁の文化遺産を生かした地域活性化事業補助金を活用し、酒々井の顔づくり実行委員会を組織してパンフレットやホームページの作成などの情報発信事業の他、各種の具体的な調査により「酒々井の顔」づくりに必要な基本資料の集積を行った。 | 町並み整備・内容については、まちづくり課で進めている景観計画との整合性を図りながら、引き続き県やまちづくり課と協議を行い検討する必要がある | 改善     |

#### 推進目標 (3) スポーツ・レクリエーションの推進

|                 |   |   |       |   |  |      |
|-----------------|---|---|-------|---|--|------|
| ①各種スポーツ教室・大会の開催 | スポーツ推進員・健康体力づくり推進員、体育協会などの各種団体の役割に応じた各種スポーツ大会などを開催する。 | A | 4,037 | スポーツ・レクリエーション大会等を開催し、延べ3,727人の参加者を得、スポーツの振興、健康体力づくりのきっかけとなった。 | スポーツ大会・レクリエーション大会に参加したことのない新たな参加者を確保し、町民のニーズにあった大会の開催、PRの充実を図る | 現状維持 |
|-----------------|---|---|-------|---|--|------|

【評価委員会からの意見等】

※推進目標の( )付き数字と事務事業名の○付き数字は、体系図の数字になります。

平成26年度 教育施策評価一覧表

重点施策 4 積極的な教育行政

推進目標 (1) 教育委員会会議の活性化

| 事務事業名          | 事業概要                         | 取組状況 | 決算見込額<br>(単位：千円) | 成果・効果                                | 課題<br>問題点 | 今後の方向性 |
|----------------|------------------------------|------|------------------|--------------------------------------|-----------|--------|
| ①教育委員会会議の工夫、公開 | 教育委員会会議の会議結果の概要、会議録の公表を実施する。 | A    | —                | 毎月行われる定例会議の会議結果の概要及び会議録をホームページに掲載した。 |           | 現状維持   |

推進目標 (2) 教育機関、各種団体等との連携協力

|                       |   |   |       |  |  |      |
|-----------------------|---|---|-------|--|--|------|
| ①順天堂大学との相互協力          | 「相互協力に関する協定」に基づき、小中学校の体育授業に学生ボランティアを派遣、教育実習生の受け入れを行う。「千葉！教職たまごプロジェクト」への登録を推進する。             | A | —     | 小中学校で3名の「ちば！教職たまごプロジェクト」への参加があり、充実した研修を実施することができた。学生ボランティア8名の登録があり、小学校で陸上練習に熱心に取り組んだ。        |  | 現状維持 |
| ③キャリア教育の推進            | ライオンズクラブ・商工会及び役場総務課・経済環境課の協力を得て、「キャリア教育推進協議会」を開催し、各学校との連携を図りつつ、児童生徒の発達段階に合わせたキャリア教育の充実に努める。 | A | —     | 関連機関などとの連携を図りながら、小学校では「ゆめ・仕事びったり体験」、中学校では「職場体験学習」を行うことができた。また、地域の協力を得ながら、キャリア教育の推進を図ることができた。 | 職場体験学習では、希望する人数や職種が多くなっているため、各関係機関と密な連携を図る必要がある。 | 現状維持 |
| ④学校給食における地産地消の積極的な取組み | 酒々井町農業生産者との連携を図り、収穫される米や野菜や加工品を積極的に使用し地産地消の推進に努める。  | B | 1,021 | 酒々井町直売組合購入割合8.6%積極的に酒々井産の食材を取入れた献立に努めた。  | 農産生産者の減や天候不順などで給食に使用する量・質ともに揃わないことがあった。          | 改善   |

推進目標（3）積極的な広報活動

|            |  |   |   |  |  |      |
|------------|--|---|---|--|--|------|
| ①ホームページの充実 | 教育委員会の概要、教育施策、組織と仕事、諸手続きなど教育関連情報を提供する。ホームページの更新に努める。 | A | — | 定例教育委員会会議の会議録（毎月）と教育委員の活動報告（3か月に1回）、教育長室より（毎月）をホームページに掲載。また、教育委員会事務局からの各種お知らせ等についても積極的に掲載した。 |  | 現状維持 |
|------------|--|---|---|--|--|------|

【評価委員会からの意見等】

(3) ①ホームページの充実

\*小中学校のホームページのように、月の行事予定など充実した、また内容がわかりやすい情報発信に努めていただきたい。